

令和元年度(平成31年度) 事業報告

[事業概要]

本会は、「地域福祉の推進」を図る団体として、近年の少子高齢化や地域のつながり希薄化によって、より複雑に、より多様になってきている地域課題に対し、公的な福祉サービスの充実を図るとともに、公的制度だけでは解決できない様々な課題に対応するため、地域住民やボランティア、福祉事業者等の関係者、行政機関、その他多様な機関との連携を図りながら、課題解決に向けた『人づくり、場づくり、仕組みづくり』に取り組んでまいりました。

[事業特記]

①地域福祉計画、地域福祉活動計画の策定

2年かけて取り組んできた『高根沢町地域福祉計画・高根沢町地域福祉活動計画』策定の年として、集約された地域課題から14の施策からなる3つの基本目標を立てました。今後は計画策定の過程で得たつながりを生かしながら、計画の確実な実施と目標の実現に向けて、より具体的に活動を推進していきます。

②県生活福祉資金と町福祉金庫の貸付事業

本年3月末から新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金の特例貸付のとして窓口を設置し、貸し付けを必要とする方を支援しました。また、町福祉金庫貸付事業については、3月理事会において承認いただいた不能欠損処理を行い、償還の整理をしました。

③ ボランティアセンター設置

受託事業である地域力強化推進事業として、地域への住民参加意識高揚のため、ボランティアセンターを開設しました。ボランティア相談窓口を設置することで、地域課題への取り組みを強化する体制を整備しました。しかし、新型コロナウイルスの流行により設備等の遅延が発生し、現時点でプレオープンとなっています。

④ 高齢者配食サービス

ひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯を対象に昼食を配達することで、不足しがちな栄養を補うとともに、配達時の声掛けを行うことで高齢者の見守りを行いました。

⑤台風19号災害派遣

台風19号災害において被災した那須烏山市に職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営を支援した。また、同じく被災した佐野市にボランティアを募り派遣し、現地での泥だし活動や、被災者との交流を行い復興を支援しました。

⑥廃止事業

高齢者等布団乾燥事業は年度内の利用者が0人だったことから、廃止事業となりました。また、志民活動サポートセンター事業は、開設5年で志民活動支援の一定の役割を終えたことから事業廃止とまりました。

地域福祉事業

- 身近な地域で支えあう地域住民の地域福祉活動を支援しました。

☆ 地域福祉活動計画の策定(2年目)	【栃の実基金事業】
地域住民や関係団体が協働して策定する、地域福祉を推進することを目的とした活動・行動計画の策定	
・ 前年度集約した地域福祉の課題について、住民、社協、行政それぞれの取り組みを計画化し、地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定	
赤い羽根共同募金地域助成事業	【共同募金配分事業】
地域団体(自治会、公民館等)の行う福祉活動に対し活動資金を助成	
・ 17事業の助成を決定し総額727,500円を支給	
▶ 生活支援体制整備事業	
生活支援協議体の運営と地域福祉サービスの開発促進	
・ 生活支援コーディネータ2名を配置し、第2層協議体の運営を行った。北高暮らし支え合い協議体では「たんたん号パンフレット」の作成。」つながる絆あくつ協議体では「高根沢たすけっと」情報チラシの作成	

生活支援事業

- 日常生活に不安のある人や、困難な状況にある人をサポートし自立への支援をしました。

日常生活自立(あすてらす)支援事業
判断能力の不十分な方への金銭管理代行、書類等の預かりを実施
・ 利用者11名(継続10名、新規1名)
▶ 生活福祉資金貸付事業(県社協事業窓口)
他制度を利用できない低所得世帯等に対し、資金の貸し付けと必要な相談支援を実施
・ 新規貸付2件(教育支援資金2件)、 滞納件数29件(滞納10件、完了2件、償還中15件、据置期間中2件)
▶ 町福祉金庫の運営
生活に困窮している方の生活費として、相談と小口資金の貸し付けを実施
・ 新規貸付4件(完了2件、償還中2件)、滞納件数11件、 不能欠損処理11件
行路人旅費貸与事業
様々な事情で十分な旅費がなく本町を經由する行路人に対し切符を貸与
・ 貸与5件
▶ フードバンクたかねざわの運営
食品の寄付を受け付け、様々な事情で食べ物に困っている方にお渡しする活動
・ 通常受付のほかフードドライブ3回実施(エコフェスタ、図書館ご縁まつり、文化祭)、食品寄付57件、食品提供47件

▶ 心配ごと相談所の開設 【愛の基金事業】
民生委員の協力を得て、月2回の相談所を開設 ・ 開所22日、相談件数11件(財産問題、近隣苦情等)
高根沢町法律相談事業の実施
弁護士が法律的な諸問題の相談に応じる場の提供 ・ 開催4回、申込数25件、相談実施件数19件(相続問題、土地建物の問題等)
介護・介助用具貸与事業
介護ベッド等の介護、介助用品を無料貸し出し ・ 介護ベッド17件、車いす16件、四点杖、シルバーカート、歩行器各1件

ボランティア、住民活動の育成・強化活動

■ ボランティア活動、住民活動を活発にするための環境を整備し、各種講座を実施しました。

ボランティア保険助成事業
ボランティア活動を行う方の活動保険料を助成 ・ 個人登録174件、団体登録16件
▶ ボランティアセンター設置の準備
ボランティア活動を行う住民等と活動先とのつなぎ役となる機関の設置を準備 ・ 令和2年3月末にボランティアセンタープレオープン
学生ボランティア体験事業(サマボラ)
夏休みを利用して、中学生以上を対象とした施設ボランティア体験 ・ 参加者数136名(中学生111名、高校生25名)・26施設で活動
▶ 災害ボランティア養成講座
災害時に活動できる人材の育成を目的としたボランティア講座の実施 ・ 初級、応用の2講座を実施予定(中止)
住民活動サポートセンターたんたんCafeへの参画
住民活動団体等の交流の場を提供し、企画実施を行うたんたんCafeへの参画 ・ 開催12回(ビレッジセンターと共同した児童向け夏休み事業を企画、実施)

高齢者福祉対策事業

■ 高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう、介護予防の充実に努めました。

ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯への訪問と生活支援
登録したひとり暮らし高齢者、高齢者世帯への定期的な訪問 ・ ひとり暮らし高齢者(293名)、高齢者世帯(94世帯)への定期的な訪問
安心見守り牛乳事業 【愛の基金事業】
75歳以上のひとり暮らし高齢者に対して2日に1度の牛乳宅配による安否確認 ・ 3月末の利用者147名

▶ 一般高齢者介護予防事業「元気はつらつ教室」の開催	
福祉センター及び3図書館にて介護予防教室を開催。タウンセンター教室の増室	
・ 全開催日数122回、総参加者数2,170名	
▶ 地域の居場所(ふれあいきいきサロン)設置	【愛の基金事業】
地域ボランティアを担い手としたサロンの設置と担い手講座の開設	
・ 実施個所14か所(継続13か所、新規1か所)、お試しサロン南区で開催	
ひとり暮らし高齢者等布団丸洗いサービス事業	【愛の基金事業】
ひとり暮らし高齢者等への布団丸洗いを年2回実施	
・ 利用者なし、本年度をもって終了	
☆ 高齢者配食サービス	
ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯への昼食配達を実施	
・ 登録者72名(現在利用中66名)	

障がい者福祉対策事業

■ 障がい児者の生活を支援し、地域に対して理解の促進を図りました。

▶ 朗読ボランティアと連携した広報朗読テープ配布事業	【愛の基金事業】
みすず会の協力を得て「広報たかねざわ」、「社協だより」の読替テープを作成し配布	
・ 利用者5名に加えて、福祉施設に読み替えテープの設置を開始	
定期手話講習会、講習生研修の開催	【共同募金配分事業】
宝積寺タウンセンターにて手話講習会を週1回開催	
・ 5月から12月までの毎週水曜日開催、15名受講	
障がい児と障がい児支援ボランティアとの交流事業	【共同募金配分事業】
GENKI応援ボランティアの協力を得て障害児の交流事業を実施	
・ 8月に障害児と保護者、ボランティア交流会実施18名参加、 12月クリスマス会実施32名参加	

福祉教育(青少年福祉)事業

■ 学校や関係機関との十分な連携を図り、福祉教育や体験学習の充実に努めました。

こどもと高齢者の交流事業	【共同募金配分事業】
町内保育園にてシニアクラブ会員との交流会を実施	
・ 保育園7園に対して助成金を交付	
児童生徒等に対する福祉体験講師派遣	
学校で行われる福祉学習プログラムの提案及び講師の派遣	
・ 阿久津、西、北小学校で福祉講話(車いす、視覚障害、高齢者体験講座)	

災害時対策事業

- 災害を見据えた連携を図り、災害時要援護者支援体制の強化を図りました。

災害時要援護者台帳の作成及び管理

調査員が災害時要援護者台帳の更新、新規調査等を実施

- ・ 訪問員2名による定期的な訪問、登録者497名

▶ 町災害対応訓練への参画

災害対応訓練において、在宅福祉ネットと協働して福祉対策本部の設置訓練実施

- ・ 2月に北小学校区をモデルとした福祉避難所訓練を実施予定(中止)

福祉センターの指定管理運営

- 施設の設置目的に沿った運営をし、適切な管理を行いました。

▶ 各種団体への会議室等利用

- ・ 集会室325回、延べ4,248名利用 会議室188回、延べ1,414名利用

福祉総合相談窓口の設置

- ・ すまいる、次世代たかねざわと連携して各種相談の受け入れ

▶ 高齢者の福祉センターを利用したサークル活動の促進

- ・ 将棋、囲碁、カラオケ、民舞、手芸などの高齢者サークル活動を支援

情報発信

- 社協だよりやホームページを活用し、社会福祉協議会に関する情報の充実を図りました。

広報誌「社協だより」の発行

【共同募金配分事業】

- ・ 5月、10月に社会福祉協議会広報誌「社協だより」を発行

町内各種イベントでの啓発

- ・ さくらフェスタ、エコフェスタ、こどもまつりにて啓発

ホームページでの啓発(常設)

- ・ ホームページを通じて各種情報を提供

日本赤十字社事業

- 日本赤十字社栃木県支部高根沢町分区として、災害事業やボランティア支援を行いました。

火災見舞い品(布団、毛布、救急セット)の給付

火災等の被害を受けた世帯へ見舞い品の給付

- ・ 見舞い品給付1件

赤十字奉仕団員活動

高根沢町分区赤十字奉仕団が行うボランティア活動を支援

- ・ 町文化祭、県児童福祉施設文化祭で甘酒や炊出し、募金活動を実施

その他の活動

不要入れ歯リサイクル 不要になった入れ歯から金属を回収し入れ歯リサイクル協会を通じて寄付 ・ 109gの希少金属回収、3150円の寄付金
善意銀行の運営 住民からの善意(物品寄贈)の窓口を設置 ・ 車いす、四点杖、手作りマスクの寄付
各種委員会等への参画 ・ 在宅福祉ネット、福祉避難所ネットワーク、多職種連携会議、人権啓発ネットワーク協議会、家事関係機関連絡協議会 ・ 障がい児者サポーター養成講座実行委員会、町健康づくりプロジェクト会議、地域ケア会議、東西包括支援センター会議

募金活動

- 活動の財源確保として各種募金の推進を図りました。

赤い羽根共同募金の推進 ・ 戸別募金5,424戸 2,931,400円 福祉認定店等に募金箱を設置
日本赤十字会費納入の推進 ・ 戸別会費4,983戸 2,488,450円 個人寄付1件 1,000,000円
町愛の基金造成の推進 ・ 戸別募金4,871戸 974,100円 一般募金36件 2,926,894円
社会福祉協議会費の納入推進 ・ 戸別会費4,966戸 2,483,250円
各種義援金、救援金の募集 ・ 令和元年台風19号募金実施

【追加】災害派遣

- 令和元年度台風19号災害によって被災した県内市町を支援しました。

災害ボランティアセンター運営支援(那須烏山市) ・ 職員を派遣し、災害ボラセンの運営支援に当たる(10/17,10/20)
台風19号災害ボランティア派遣(佐野市) 【共同募金配分事業】 ・ 災害ボランティア10名とともに佐野市において災害支援活動を実施(11/17) 高根沢高校ボランティアとの災害支援活動を予定(中止)

担当事務局

- 関連団体等との連携図り、必要な支援を行います。

日本赤十字社栃木県支部高根沢町分区
日本赤十字社栃木県支部高根沢町分区赤十字奉仕団
高根沢町シニアクラブ(運営支援)
高根沢町ひとり親家庭福祉会(運営支援)
高根沢町身体障害者福祉会(運営支援)

【再掲】共同募金配分事業

- 共同募金会を活用し、各種福祉活動に配分しています。

赤い羽根共同募金地域助成事業
定期手話講習会、講習生研修の開催
障がい児と障がい児支援ボランティアとの交流事業
こどもと高齢者の交流事業
台風19号災害ボランティア派遣(佐野市)
広報誌「社協だより」の発行